

発行 一般社団法人ワムタウン推進本部
〒359-1131 埼玉県所沢市大字久米554番地2
TEL 04-2941-3640 FAX 04-2941-3641
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会

第139号 2023年/令和5年9月1日(金)

東松島ロイヤルリハビリセンターの開設に向けて

医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院（宮城県石巻市） 総務課係長（開設準備担当） 岩澤 康行

今年3月時点の宮城県内の高齢化率（人口に対する65歳以上の割合）は29.1%で、仙台市を含めた近隣の市町は26%程度と低く、一方、石巻圏域では33.9%と10年前の27.2%より6.7%も上昇している状況となっております。そして、今後の石巻圏域は、人口減少が顕著となる中で高齢化率は横ばいを続け、とりわけ85歳以上の高齢化率が上昇すると予測されております。

平均寿命も健康寿命も延びておりますが、その差は極端に縮小されることは考えにくく、高齢化が進むと要介護者も増加すると言われ、今後は様々な介護事業の展開が望まれるところであります。

また、東日本大震災から12年が経過し、沿岸部では居住困難な地域が発生したことで集団移転を余儀なくされ、復興した街並みはあらゆる所で様変わりしました。

特に、田んぼを埋めて造成した「新蛇田地区」は、87.6ヘクタール（東京ドーム約19

個分）もの新市街地で、一般住宅のほか公営住宅も整備され、約5300人の方々が移転されました。

以前からの住宅整備や商業施設の進出も相まって今や蛇田地区は石巻市の中核を成している地域となりました。

このような石巻圏域の高齢化や近隣の居住の変化に対応するため、この度、令和6年4月の開所を目指し、通所介護事業所である「東松島ロイヤルリハビリセンター」の建設に着手したところであります。

建設場所は石巻運転免許センターの斜め向かいに位置し、前述の蛇田地区に隣接した石巻市と東松島市の境目となっており、石巻ロイヤル病院から車で10分ほどのところになります。

7月6日（木）には、高橋経営統括と石橋院長が参列し地鎮祭が執り行われ、工事の安全と建物の無事完成を祈願しました。

3時間以上4時間未満の短時間でのサービ

ス提供となりますので、昼食やお風呂はありませんが、理学療法士や作業療法士などの機能訓練指導員が常勤したリハビリ特化型のデイサービスセンターとなります。

石巻ロイヤル病院や通所リハビリテーション、更には立町ロイヤルリハビリセンターとも連携し、開設当初は午前の定員35名、午後の定員35名と通常規模での開設となります。

東松島市への新たな事業進出となりますことから、今後は開設に向け更に詳細な準備を進め、地域の皆さんに長く愛される事業所となれるよう職員一同、尽力いたします。



地鎮祭での高橋経営統括による玉串奉奠



地鎮祭での石橋院長による穿始の儀



東松島ロイヤルリハビリセンター建設地



東松島ロイヤルリハビリセンター外観図



内観イメージ図

拍手大喝采のお楽しみ会（行事）について

社会福祉法人栄光会 特別養護老人ホーム ロイヤルの園（埼玉県所沢市） 介護職員 小野 寛太

特別養護老人ホームロイヤルの園（所沢）は2階と3階が特養入居スペースになっており、行事は同じ内容で別日に各階ごとに実施します。

今回紹介する行事の1つ目はお楽しみ会で、6月のマジックショーと、7月の選んで満足ケーキの日でした。

マジックショーではマジシャンのマギー四郎人（しろうと）さんにご来園いただきマジッ

クを披露、マギーさんがハサミで切ったはずの紐が元通り1本の紐になったり、折りたたんだ新聞紙にコップの水を入れ、再度開くと零れているところか入れたはずの水が消えてしまいました。これにはご利用者、職員共に「えー何でー」と驚いたのもつかの間、今度は元通りに折りたたんだ新聞紙をコップへ傾けると緑茶が注がれ、皆様声も出さず不思議そうに見つめられ、大いに盛り上がりました。

7月のケーキの日は父の日母の日のお祝いにティラミ

ス、抹茶ケーキ、ショートケーキ、イチゴケーキ、シフォンケーキの5種類の美味しそうなお菓子が用意され、皆様「どれにしよう」と迷われていましたが、選ばれたケーキを美味しく召し上がられ行事は大いに盛り上がりしました。

また2つ目は、6月中旬に行われたレクリエーションです。新人職員と大きな輪を作り、風船を床に落とさないように手でたたいたり、輪になったご利用者同士で協力し合いながらレクを楽しまれ、新人職員とご利用者との絆がより深まった様子でした。



拍手大喝采！マギー四郎人（しろうと）さん登場



選んで満足～ケーキの日、どれにしようかな？

七夕の「天の川水ようかん」

医療法人昭仁会 北野病院・介護老人保健施設四季の里（埼玉県新座市） 栄養課 藤原 実貴、堺 充由、佐藤 可奈子、大脇 智子

7月の行事は七夕！毎年、四色の麺を使用した彩りの良い七夕素麺を提供していますが、麺を食べられない方にはどうしても行事感の薄い食事になってしまうのが、栄養課としての悩みでした。

そこで今年は、常食からゼリー食まで全員が七夕を楽しめるよう、京都の某和菓子店の七夕限定の羊羹を参考に、手作りの「天の川水ようかん」にチャレンジしました！

水ようかんの層に、夜空をイメージした青

色の層、最後にきらめく銀河をイメージしたアラザン入りのギャラクシー層を薄く重ねました。

見た目はもちろんですが、安全にそして美味しく食べて頂けるよう、固さにもこだわりました。

寒天は、夏場の暑さでも安定した状態を保つことが出来ますが、各層の結着性が悪く層が剥がれてしまうのが難点で、口の中でバラけ易く嚥下の悪い方には少々危険です。ゼラ

チンは、各層の結着性は良いのですが、温度によって緩くなってしまふので、特に夏の暑い時期は安定性に欠けます。

そこで、寒天とゼラチンを混ぜることで結着性と安定性を両立させました。何度も試作を行った結果、どこのレシピサイトにもない北野オリジナルの水ようかんとなりました。

今年の七夕はあいにくの曇り空で、星空を見ることは出来ませんでした。お膳の上だけでも七夕の夜を楽しんで頂ければと思います。



「天の川水ようかん」完成です



常食メニューはこちらです

笑顔あふれるクラブ活動の紹介

社会福祉法人栄光会 デイサービスセンター ロイヤルの園 (埼玉県所沢市) 介護リーダー 糟谷 玲奈

デイサービスセンター ロイヤルの園では、3年前からクラブ活動は実施する曜日を決めて行なっています。それぞれ月に1~2回実施し、趣味活動を通して心理面、社会面を豊かにし、認知症の予防につながることを目的としています。また好きなことに打ち込み、充実感を味わえる機会となるように、様々な活動を考えています。

一例として、折り紙クラブでは、季節を感じる制作物をテーマに様々な素材を使います。手芸クラブでは、毛糸で可愛らしいマスコットや刺繍のアクセサリを制作します。塗り絵クラブでは、何週にも渡り少しずつ色を重ねて描きあげます。利用者皆さんのおや

つを手作りして提供するおやつクラブや楽器を演奏して音楽を楽しむ音楽クラブなどもあります。最近始めた活動では、昔のものでテーマを決めて話し合う思い出クラブがあり、普段会話の少ない独居の方を主な対象者として、会話の機会を増やし回想法を取り入れた活動をしています。

それぞれのクラブ活動には担当職員が決まっており、ご利用者の状況や前回の振り返りを活用し、より満足度の高い内容と完成度の高い作品作りを目指しています。作品に達成感を感じ次の参加への意欲につながり、そして出来上がった作品は、施設の玄関入り口に展示します。新しい作品が並ぶのを楽しみ

にしてくださる方もいらっしゃいます。

多くの方々に見ていただく機会が増えると張り合いが出来るので、皆さんもぜひ見学にきていただくと嬉しく思います。



マスコット (インコ) を作りました!



折り紙クラブ、夏の風物詩



栄養士さんと手作り! おやつクラブ



皆さんと演奏を楽しむ音楽クラブ



思い出クラブ~所沢について~

かあちゃんごめんな

医療法人啓仁会 豊川さくら病院 (愛知県豊川市) 総務課長 一戸 民夫

私が豊川さくら病院の一員に加えさせていただいた当日から携わるようになった総務課の業務の1つにリモート面会があります。リモート面会とは、新型コロナウイルスの影響で対面面会が中止となった代わりに始まった、タブレット端末を用いたテレビ電話による面会のことです。リモート面会では子どもや孫の成長、進学や出産の報告、就職や結婚の電撃発表など、一緒に泣いて喜んだり、時に悲しんだりするようなこともあります。

眠りに落ちてしまった患者様の寝顔を終始オンエアといったハプニング。画面越しに大きな声で必死に起こそうとされるご家族様もいらっしゃれば、寝顔をそっと見守られるご家族様もいらっしゃいます。そして最後は「もう仕方ないなあ」と笑いながら帰られます。ご家族様には手作りの誕生プレゼントを渡して欲しいなどのご依頼を受けることもあります。そんな時は、プレゼントを手にして喜ばれるお姿が映るように心がけたりします。そして病棟の職員もその場を盛り上げてくれたり、患者様とのやり取りが円滑になるよう声掛けをしてくれたり、当院での普段の様子をご家族様に伝えてくれたり絶妙に面会を支えています。

ここで質問ですが、もし皆様の大切なお父様・お母様とリモート面会をすることになったら、何を尋ねますか。そして当院で一番聞かれる質問は何だと思いますか。

正解は「何か食べたいものはない?」です。余程の好物なのでしょう。聞かれる前から

「〇〇(店の名前)のちらし寿司買って来い!」と切実に訴えられた患者様もいらっしゃいましたが、この質問への返答は異口同音に「何もいないよ」です。ご家族様が大切なお父様・お母様のことを慮って語りかけるお姿、そしてその気持ちだけで十分という親御さんの思いが、画面の外にいる私にひしひしと伝わってきます。

終始、他人行儀で、親切気もない調子で早々に面会を切り上げられた女性の患者様。せっきくの面会なのだからもう少し気を利かせてお話しされても良いのにと内心思っていました。終了して画面からご家族様が消えた途端、堰を切ったようにフツと泣き崩れました。本当はご家族様が心から愛おしかったのですね。

私も慣れてくると「今日はしっかり起きていて良かったですね」「前回よりもだいぶ元気になりましたね」「ご家族様のおっしゃることはしっかりと伝わっていましたよ」「ご退院おめでとございます」など、病棟から1階まで戻りご家族様がまだ帰っていない時はいろいろと話しかけるようになっていきました。

ある日、作業服を着た体つきの良い中年の男性が、お母様との面会にいらっしゃいました。お母様はあまり言葉では受け答えできる状態ではありませんでしたが、お話はよく理解されておりました。



「...どう?」「...元気?」

どことなくぎこちない振る舞いでした。当時は何か譲れないことがあったのでしょうか。どうやら家を飛び出し、何年ぶり、何十年ぶりのお母様との再会だったようです。現在、自分がどこにいるのか、どんな仕事をしているのか話されました。そして沈黙のあと少し笑顔を作って息子さんは言いました。

「かあちゃんごめんな」
空気が張り詰めました。

これまでずっとこのひと言を伝えたくったのでしょうか。そしてずっとそう思い続けていたことを、お母様はきっとお見通しだったことでしょうか。謝ってくれたことではなく、今日それが話せて息子さんの気が少しでも楽になったことがお母様も嬉しかったに違いありません。私も母親には迷惑ばかりかけ、何一つ親孝行しないうちにその機会を失いました。そんな自分自身のこともよぎりました。面会后、息子さんの方へ急いで行ってみました。既に当院を後にされていました。

何度、このリモート面会で心を揺さぶられたことでしょうか。

今年5月の新型コロナウイルス5類移行に伴って念願の対面面会が解禁となりました。これまで画面越しでしかお話ができなかったご家族様を見かけた時は一緒に喜びました。面会はまだ人数の制限がありますが、これからは患者様、ご家族様にはなるべくご不便、ご迷惑をおかけしないよう、より良い環境の構築に取り組んでいきたいと思ひます。

